



日本の昔話

イラスト 水上みのり

むかしむかしあるところに、

しょうじきもののじいさまがおりました。

ある冬ふゆの日、じいさまは、

すてられていた白い子犬を見つけました。

子犬「ワンワン」

じいさま「おお。かわいそうに！さむかったろう」

じいさまは、子犬をふところに入れて、

つれてかえりました。

ばあさまもたいそうよろこび、

こどものいないふたり二人はシロと名なづけて

だいじにそだてました。



シロ「ワンワン」

シロは、じいさまによくなつきました。

じいさまが畑はたけへいくとついでにき、

土をほったり、たねまきをしたりして、

畑しごとをてつだいました。

シロ「ワンワン！ワンワン！」

じいさま「おー、よしよし。」

シロはほんにめんこいのおー！

かみさまがさずけてくださったことどものようじゃ「

そんなある日のこと。

シロは畑はたけのすみでいつもとはちがうようすで

ほえたてました。





シロ「ワンワン、ワンワン」

じいさま「おー、シロ、どうしたんじゃ？」

シロ「いっほれ、ワンワン、ここほれ、ワンワン」

じいさま「うん？ここをほれというんか？」

よしよし、わかった」

じいさま「よいしょ、よいしょ……」

するどいしょいしょいしょ。

じいさま「おおー！なんとらういごとじゃ……」

畑からおおばんこばんが

ぞっくぞっく

出てきたではありませんか。



そのようすを見ていたのが、  
となりのよくばりなじいさまです。

よくばりじいさま「ほほう……」

よくばりなじいさまは、シロをむりやり  
つれだしました。

よくばりじいさま「おいおい、いっちゃんいっちゃん！

早くこんか！」

シロ「ウー——」

よくばりじいさま「おい——」

おおばんこばんは、どいじっちゃ？

早くおしえろ——」

しかし、シロはいっちゃんいっちゃん

へんじをせず、

畑のすみ<sup>はたけ</sup>にすわりこみました。



よくばりじいさま「おお、いなか！よくし！」

じいさまは、いそいで畑をほりかえました。

するどぶうでしよう。

よくばりじいさま「ひっ、ひっ、ひゃーっ……！」

出るわ出るわ。

土の中から

われたちやわんやら、

うしのふんやら、

へびやらむかでやら……！

よくばりじいさま「だましたな。このうそつき犬め！」

シロ「キャーーン」

じいさまは、シロをなぐりころしてしまいました。





じいさま「なんとむじろいことを…」

しょうじきもののじいさまは、

しんでしまったシロを、

にわにいていないにほうむりました。

そして目じるしに、一本のまつの木をうえました。

じいさま「シロや、すまないことを

したなあ。ゆるしておくね。」

じいさまがうえたまつの木は、

おどろいたことにみるみる大きくなりました。

じいさま「いりゃ、たまげた！ シロのかたみと

おもって、この木でうすをこしらえよう。」



そのうすで、じらわまとはあわまは、

もちをつくじやにしました。

じらわま「あつじや、あつじや」

(ぺったん、ぺったん)

あつじやあつじや。

じいさま「な、な、なんとー!」

うすからおおばんこばんがきつくつく

出てきたではありませんか。

じいさまもばあさまも、これまた

びっけりきょしてん。





そのようすを、また、となりのじいさまが見ていました。

よへぼりじいさま「ほほし…」

むりやりうすをかりてかえると、

力まかせにもちをつきました。

よへぼりじいさま「よしよ、よしよ、よしよ」

(べったん、べったん)

するし…。

よへぼりじいさま「なんじゃ、いりゃー!」

くさったやさいに、くさったにくやさかな。

はながまがってしまいそうなほど

くさくてたまりません。

おこったじいさまは、

にわで、うすをもやしてしまいました。



それをきいたしょうじきもののじいさまは、  
うすのはいをかきあつめました。

じいさま「シロのおもい出じや。

せめてこのはいだけでも

たいせつにしよう」

そのときです。

じいさま「ああっ…。」

かぜがはいを空たかくまい上げました。

すると、あら、ふしぎ！

はいがかかったかれ木に

つぎつぎと花がさいたではありませんか。

じいさま「こりゃ、たまげた！

シロが花をさかせてくれた！」



じいさまはうれしくなって、かれ木にのぼると、  
はいをつかみました。

じいさま「かれ木に花をさかせましょう！」

かれ木に花をさかせましょう！

おお！さいたさいた！」

かれ木が、あつというまに、花ざかり。

ちょうどそのとき、

とのさまのぎょうれつがとおりかかりました。





とのさま「おお、あっぱれじゃ！まことに

みごとな花ざかりじゃ！

にっぽんいち

日本一のはなさかじいにほうびをとらせよ！」

じいさま「ありがとうございます。

これもシロのおかげじゃ」



よくばりじいさま「ほほう」

となりのじいさまも、いそいでのこったはいを

かきあつめて、かれ木にのぼりました。

そして、「いそとばかりに

どかっとはいをつかむと…。

よくばりじいさま

「かれ木に花をさかせましょう！

かれ木に花をさかせましょう！」

ところが、花がさくどころか、

あたりいちめんはいだらけ。



とのさまやけらいたちの目やはなに  
はいが入ってきてきて大さわぎ。

とのさま「ゲホゲホゲホ。ぶれいもの！

このはいまきじじいをとらえろ！」

よくばりじいさま

「も、も、もうしわけございません！

おゆるしてくださいー！ー！ー！」

とのさまにきつくおしおきをされた

じいさまは、なくなかなかえっていったそうな。





お  
わ  
り